

ペット一般教養 I	1 年次	後期必修	45 時間	1 単位
ナーシング&トリミング科 (通信部)	共通科目		教養的科目	
	オンライン学習		44 時間	演習
	対面学習		1 時間	実習

■授業の概要

就職セミナー(業界就活事情、社会人の心構え、履歴書かき方、自己分析方法)

■到達目標

社会人の心構え、履歴書の書き方などの理解をする

■成績評価の方法等

スクーリング出席点、オンライン単元認定試験、対面科目認定試験

■授業計画

◆実務経験者による授業の有無：有

ペット関連業の実務経験者であり、経営者としての視点からペット業界の就活事情や履歴書の書き方等を指導します。

※予定は変更されることがあります。

回数	授 業 内 容
1～2	履歴書の書き方 前提、履歴書選び方、注意点、自己PR・志望動機・特技・趣味以外の記入方法
3～4	ペット業界の現状 就活ステップ、就活スケジュール
5～6	自己分析 自己年表、長所・短所シート作成
7～8	自己PR ポイント、書き方
9～10	履歴書作成
11～12	志望動機 ステップ、書き方ポイント
13～14	履歴書作成
15	履歴書作成・完成 履歴書完成した学生は志望動機

共通基礎	1 年次	前期必修	90 時間	2 単位
ナーシング&トリミング科 (通信部)	共通科目		専門基礎科目	
	オンライン学習		89 時間	演習
	対面学習		1 時間	実習

■授業の概要

犬との接し方や道具の使い方等、犬を扱う上で必要となる基本的な知識・技術を学ぶ

■到達目標

犬を扱う上での基本的な知識。技術を身につける

■成績評価の方法等

スクーリング出席点、オンライン単元認定試験、対面科目認定試験

■授業計画

◆実務経験者による授業の有無：有

ペットトリマー、ドッグトレーナー、愛玩動物看護師、ドッグブリーダー、それぞれの経験を持たれる講師陣が担当します。

※予定は変更されることがあります。

回数	授 業 内 容
1～2	犬とは
3～5	社会人マナー
6	人と犬の歴史 犬の起源、進化
7～8	犬の形態機能学的特徴
9～10	飼育する責任（動愛法とは、意識する項目）
11～13	レクリエーション
14～15	手入れと健康
16～17	飼育記録の必要性、記入方法、健康管理①
18～24	犬の触り方、行動管理
25～26	健康管理②
27～28	日常ケア①
29～31	飼育実習①(健康チェック、ケア、サークル出入)
32～33	健康管理③
34～35	日常ケア②（各ブラシ説明Ⅰ）
36～39	飼育実習②(健康チェック、ケア、散歩)

40～41	衛生管理
42	教材配布（各ブラシ説明Ⅱ）
43～44	食事管理
45～48	飼育実習③(健康チェック・ケア、散歩、クレート衛生管理)
49	週末実習について（インターンシップ、飼育管理実習説明）
50～51	ブラッシング方法（長毛種編）
52～54	飼育実習④(健康チェック・ケア、散歩、クレート衛生管理)
55～56	ブラッシング方法（中短毛種編）
57	交通安全
58～60	飼育実習⑤(健康チェック・ケア、散歩、クレート衛生管理、シャンプー)
61～63	季節ごとの管理 動物に影響を与える条件、各季節の注意点
64	施設利用方法注意
65～67	飼育実習⑥(健康チェック・ケア、散歩、クレート衛生管理、シャンプー)
68～69	湯ぶき・部分洗い
70～71	犬の本能行動の問題 本能と習性、社会構造、コミュニケーション、社会的距離、問題行動、問題行動の原因
72～73	教材配付（ベISINGとは）
74～76	飼育実習⑦
77～78	飼育実習⑧（各自今までの内容を復習しながら実施）
79～80	自己啓発
81～84	飼育実習⑨（各自今までの内容を復習しながら実施）
85～89	総復習
90	定期試験

各科実習	1 年次	前期必修	90 時間	2 単位
ナーシング&トリミング科 (通信部)	共通科目		専門基礎科目	
	オンライン学習		85 時間	演習
	対面学習		5 時間	実習

■授業の概要

所属する科に関わらず、美容、訓練、看護、繁殖の基礎を学ぶ

■到達目標

美容・訓練・看護・繁殖の基礎的知識・技術を身につける

■成績評価の方法等

スクーリング出席点、オンライン単元認定試験、対面科目認定試験

■授業計画（回数は、月間時間割に準ずる）

◆実務経験者による授業の有無：有

美容実習はプロトリマー、訓練実習はドッグトレーナー、看護実習は愛玩動物看護師、繁殖実習はドッグブリーダーの実務経験者が担当し、それぞれの分野を専門的に指導します。

※予定は変更されることがあります。

回数	授 業 内 容
1～3	グルーミング ・ブラッシング、ネイルカット、イヤーケア
6～9	ベISING ・肛門腺位置確認、肛門腺絞り ・シャンプー手順 ・ドライヤー使用方法
10～12	クリッピング ・趾裏、お腹、肛門クリップ
13～15	鉗の開閉 ・趾周りカット ・趾裏カット、肛門周りカット
16～18	部分カット 桃尻、アンダー、エプロン、前肢飾り毛、耳飾り毛、尾カット
19～21	アタッチメントコームを使用したトリミング方法 スピードトリミング（鉗仕上げなし）
22～23	リボン付け
24～25	シャンプーセット シャンプー、ドライ、趾周りカット
26～28	犬をしつける目的と訓練の進め方 ・しつけと訓練の違い ・褒める時・叱る時のポイント ・リーダーシップをとるために
29～32	基本服従 5 項目（命令の出し方） ・指示の出し方 ・従わなかった時の対応の仕方 ・リード操作の仕方、注意点
33～36	しつけの時期・時間、遊びの重要性 ・パピートレーニング ・犬との遊び、その重要性 ・犬が喜ぶ訓練を心がけるために

37～40	モチベーター・報酬の種類、与える際の注意点 ・メリット・デメリット
41～43	基本服従 5 項目の教え方手順 ・ポイント、注意点
44～45	基本服従 5 項目を利用した遊び
46～49	保定とは ・立位、座位、横臥位の手順、注意点 ・口輪装着方法
50～54	耳道洗浄・歯磨き・眼洗浄 手順、注意点
55～58	薬剤の投与Ⅰ（錠剤、液剤、点眼、点耳） 手順、注意点
59～62	バイタルサインの測定（体温、脈拍、呼吸） 手順、注意点
63～66	薬剤の投与Ⅱ（粉剤、軟膏） 包帯法の手順、注意点
67～70	緊急対応 手順、注意点
71～72	犬の測定方法（スタンダードと個体の違い） ・体長、体高、胸囲、胴囲、正姿勢について
73～74	繁殖学基礎① ・基礎 ・発情生理 ・交配の流れと精液組成 ・発情犬と雄犬の反応
75～77	繁殖学基礎② ・妊娠とは ・偽妊娠とは ・妊娠診断 ・胎児の成長
78～80	繁殖学基礎③ ・分娩の管理 ・子犬の成長と管理 ・母犬の管理
81～82	給餌の重要性 ・餌量計算基礎 ・実例での計算練習
83～85	餌量計算（実践） ・担当犬の給餌量決定 ・犬種、季節における変化等 ・餌種変更方法
86～90	【スクリーニング】

動物形態機能学Ⅰ	1 年次	前期必修	90 時間	2 単位
ナースিং&トリミング科 (通信部)	共通科目		専門基礎科目	
	オンライン学習		89 時間	演習
	対面学習		1 時間	実習

■授業の概要

犬猫を中心に動物の身体の構造、機能を理解し、なりやすい疾患について学ぶ

■到達目標

犬猫の形態と機能、なりやすい疾患について理解する

■成績評価の方法等

スクーリング出席点、オンライン単元認定試験、対面科目認定試験

■授業計画

◆実務経験者による授業の有無：有

愛玩動物看護師国家資格を有する実務経験者が講師として担当します。

※予定は変更されることがあります。

回数	授 業 内 容
1～3	・形態機能学とは ・疾患学とは
4～6	骨格系① ・役割、形状、骨格名称、骨格分類、椎骨式
7～9	骨格系② ・代表的疾患【骨折、脱臼】
10～12	骨格系③ ・代表的疾患【股関節形成不全、軟骨形成不全、関節炎】
13～15	筋肉系① ・役割、構造、筋肉・腱・靱帯違い ・代表的疾患【前十字靱帯断裂、多発性筋炎】
16～18	神経系① ・役割、構造 ・代表的疾患【椎間板ヘルニア(ヘルニアの種類)、水頭症、泉門、癲癇】
19～21	内分泌系① ・役割、構造
22～24	内分泌系② ・代表的疾患【クッシング症候群、アジソン病、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症】
25～27	感覚器系①【聴覚】 ・役割、構造 ・代表的疾患【外耳炎、耳血腫】
28～30	感覚器系②【視覚】 ・役割、構造 ・代表的な疾患【白内障、緑内障、角膜炎、瞬膜腺突出】
31～33	感覚器系③【味覚】 ・役割、構造 ・代表的な疾患【歯石、歯周病、口内炎】

34～36	感覚器系④【皮膚感覚】 ・役割、構造 ・代表的疾患【膿皮症、脂漏症】
37～39	感覚器系⑤【嗅覚】 ・役割、構造 ・代表的疾患【鼻炎、副鼻腔炎、鼻出血】
40～42	基礎、骨格系、筋肉系、神経系、内分泌系、感覚器系の復習
43～45	消化器系① ・役割、構造
46～48	消化器系② ・代表的疾患【下痢、便秘、肛門囊炎、腸閉塞、巨大食道】
49～51	肝胆道系① ・役割、構造 ・代表的疾患【黄疸、肝炎、肝リピドーシス】
52～54	膵臓① ・役割、構造 ・代表的疾患【インスリノーマ、膵炎、糖尿病】
55～57	泌尿器系① ・役割、構造 ・代表的疾患【膀胱炎、ネフローゼ症候群、尿路結石症】
58～60	腎臓① ・役割、構造 ・代表的疾患【腎不全、腎盂腎炎】
61～63	生殖器系①（雄） ・役割、構造 ・代表的疾患【前立腺肥大、包皮炎、精巣停留】
64～66	生殖器系②（雌） ・役割、構造 ・代表的疾患【膣炎、子宮蓄膿症、乳腺腫瘍】
67～69	消化器系、肝胆道系、膵臓、泌尿器系、腎臓、生殖器系の復習
70～72	呼吸器系① ・役割、構造 ・代表的疾患【気管支炎、肺炎、気管虚脱、水胸・気胸】
73～75	循環器系① ・役割、構造
76～78	循環器系② ・代表的疾患【心不全、門脈体循環シャント】
79～81	血液・リンパ系① ・役割、構造 ・代表的疾患【高血糖、低血糖、貧血、リンパ腫】
82～84	腫瘍系疾患① ・腫瘍とは、分類、特徴、ステージ、予防、治療
85～87	呼吸器系、循環器系、血液・リンパ系、腫瘍系疾患の復習
88～90	復習

動物感染症学Ⅰ	1 年次	前期必修	90 時間	2 単位
ナースিং&トリミング科 (通信部)	共通科目		専門基礎科目	
	オンライン学習		89 時間	演習
	対面学習		1 時間	実習

■授業の概要

病原体になりうる微生物の感染予防方法を理解し、動物に健康維持に努める

■到達目標

ゾーノシス、寄生虫等の生態等を理解し、感染予防方法を身につける

■成績評価の方法等

スクーリング出席点、オンライン単元認定試験、対面科目認定試験

■授業計画

◆実務経験者による授業の有無：有

ペットケアアドバイザーとして実務経験者が講師として担当します。

※予定は変更されることがあります。

回数	授 業 内 容
1～3	下痢と嘔吐 ・観察する内容 ・種類、原因、対処法
4～6	応急処置が必要な症例①【日射病・熱射病・低体温症】 ・原因、症状、なりやすい犬種、処置、予防
7～9	応急処置が必要な症例②【胃拡張・胃捻転】 ・原因、症状、なりやすい犬種、処置、予防
10～12	応急処置が必要な症例③【外傷、火傷、骨折】 ・各症例の状態、原因、症状、なりやすい犬種、処置、予防
13～15	応急処置が必要な症例④【痙攣、発作、溺れる、窒息、ショック】 ・各症例の状態、原因、症状、なりやすい犬種、処置、予防
16～18	応急処置が必要な症例⑤【眼球突出、感電、中毒】 ・各症例の状態、原因、症状、なりやすい犬種、処置、予防
19～21	寄生虫 ・寄生虫とは、宿主、寄生虫の分類 ・腸管内寄生虫の基礎知識 ・外部寄生虫の基礎知識
22～24	腸管内寄生虫①【回虫、鉤虫、鞭虫】 ・形態、宿主、寄生部位、感染経路、症状、人への感染
25～27	腸管内寄生虫②【瓜実条虫、マンソン裂頭条虫】 ・形態、宿主、寄生部位、感染経路、症状、人への感染
28～30	腸管内寄生虫③【コキシジウム、腸トリコモナス、ジアルジア】 ・形態、宿主、寄生部位、感染経路、症状、人への感染
31～33	内部寄生虫【フィラリア】 ・特徴、寄生部位、症状、ライフサイクル ・予防、投薬の注意 ・診断、治療、など

34～36	外部寄生虫①【ノミ、マダニ、アカラス】 ・形態、宿主、寄生部位、感染経路、症状、人への感染
37～39	外部寄生虫②【ヒゼンダニ、ミミヒゼンダニ、ツメダニ、ハジラミ】 ・形態、宿主、寄生部位、感染経路、症状、人への感染、注意事項、予防方法
40～42	滅菌と消毒① ・用語説明
43～45	滅菌と消毒② 【滅菌法】【消毒法】
46～48	滅菌と消毒③ 【消毒法】
49～51	滅菌と消毒④ ・各消毒薬の効果的な使用方法
52～54	不妊措置 ・犬猫の繁殖制限、目的、利点・欠点
55～57	ワクチンプログラム ・ワクチンとは、必要性、接種時・後の注意点、副作用、ワクチンの種類
58～60	狂犬病ワクチン・混合ワクチン ・それぞれの特徴 ・ワクチンプログラム ・混合ワクチンの種類・選択方法
61～63	犬の混合ワクチンで予防できる感染症
64～66	猫の混合ワクチンで予防できる感染症
67～69	幼齢動物の管理
70～72	高齢動物の管理
73～76	ズーノーシス① ・ズーノーシスとは ・学ぶ意義 ・狂犬病 ・猫ひっかき病
77～80	ズーノーシス② ・破傷風 ・トキソプラズマ ・皮膚糸状菌症 ・幼虫移行症
81～84	ズーノーシス③ ・ノミ刺し症 ・アニサキス症 ・食中毒を引き起こす病原体 ・レプトスピラ
85～88	ズーノーシス④ ・オウム病・マダニが媒介するズーノーシス ・ズーノーシスが増加した要因、予防方法
89～90	復習

専科講義	1 年次	後期必修	135 時間	3 単位
ナーシング&トリミング科 (通信部)	専門科目		専門科目	
	オンライン学習		125 時間	演習
	対面学習		10 時間	実習

■授業の概要

主に犬猫の飼育及び繁殖について客観的に学習する

■到達目標

犬猫の繁殖生理、管理方法や具体的事例の対応法などを理解する

■成績評価の方法等

スクーリング出席点、オンライン単元認定試験、対面科目認定試験

■授業計画

◆実務経験者による授業の有無：有

ドッグブリーダーとしての実務経験者が担当します。

※予定は変更されることがあります。

回数	授 業 内 容
1～10	発情について
11～15	交配について
16～35	妊娠について
36～45	出産について
46～60	哺育について、新生子・子犬について
61～80	繁殖学応用 実践繁殖の解説
81～125	社会人基礎力
126～135	【スクーリング】

インターンシップ	1 年次	通年必修	45 時間	1 単位
ナーシング&トリミング科 (通信部)	専門科目		職業実践科目	
	オンライン学習		40 時間	演習
	対面学習		5 時間	実習

■授業の概要

インターンシップでは、お客様に対する接客技術を習得することを目的とし、提携先の株式会社アイピーシーにて実務研修を行う

■到達目標

実務研修を通して接客技術を身につける

■成績評価の方法等

スクーリング出席点、オンライン単元認定試験、対面科目認定レポート

■授業計画

◆実務経験者による授業の有無：有

企業連携であるわんわん動物園やペット美容室で実務研修の指導を受けます。

回数	授 業 内 容
1～10	インターンシップの必要性、業務内容の把握、あいさつの徹底
11～20	積極的にお客様に声をかける
21～45	報告・連絡・相談の徹底を図る スキルアップを図る

飼育管理実習 I	1 年次	通年必修	135 時間	3 単位
ナースিং&トリミング科 (通信部)	専門科目		職業実践科目	
	オンライン学習		130 時間	演習
	対面学習		5 時間	実習

■授業の概要

多種・多頭数の生体の飼育管理能力と専門的技術の基礎力を増強する

■到達目標

多種・多頭の生体の管理方法を身につける

■成績評価の方法等

スクーリング出席点、オンライン単元認定試験、対面科目認定レポート

■授業計画

◆実務経験者による授業の有無：有

企業連携であるわんわん動物園から指導を受け、ペット関連業の実務経験者が主に犬に対する適正飼養と衛生管理等を指導します。

回数	授 業 内 容
1～5	犬を飼うにあたって遵守すべき事項 動愛法より
6～10	衛生管理 掃除、消毒、糞尿処理 など
11～15	餌管理 ドッグフードの種類、餌のあげ方 など
16～20	散歩や犬が集合する場所でのマナー
21～25	ケアの方法復習【眼】
26～30	ケアの方法復習【耳】
31～35	ケアの方法復習【口】
36～40	ケアの方法復習【皮膚・被毛】
41～45	健康チェックと考えられる病気【眼】
46～50	健康チェックと考えられる病気【耳】
51～55	健康チェックと考えられる病気【口】

56～60	健康チェックと考えられる病気【皮膚・被毛】
61～65	健康チェックと考えられる病気【四肢・歩様】
66～70	健康チェックと考えられる病気【全身】①
71～75	健康チェックと考えられる病気【全身】②
76～80	バイタルチェック①体温
81～85	バイタルチェック②呼吸
86～90	バイタルチェック③心拍・脈拍
91～95	多頭飼育の方法と注意点
96～100	人気犬種の特徴を知る①トイプードル
101～105	人気犬種の特徴を知る②チワワ
106～110	人気犬種の特徴を知る③ミニチュア・ダックスフンド
111～115	人気犬種の特徴を知る④柴犬
116～120	人気犬種の特徴を知る⑤ポメラニアン
121～125	人気犬種の特徴を知る⑥ミニチュアシュナウザー
126～130	人気犬種の特徴を知る⑦フレンチブルドッグ
131～135	PDCA サイクル、報連相

動物飼育実習 I	1 年次	通年必修	45 時間	1 単位
ナーシング&トリミング科 (通信部)	専門科目		職業実践科目	
	オンライン学習		40 時間	演習
	対面学習		5 時間	実習

■授業の概要

展示動物の管理について、お客様の視線を意識した日常ケア等を通し基礎力を養う

■到達目標

展示動物の管理方法の基礎力を身につける

■成績評価の方法等

スクーリング出席点、オンライン単元認定試験、対面科目認定レポート

■授業計画

◆実務経験者による授業の有無：有

企業連携であるわんわん動物園から指導を受け、プロトリマー、ドッグトレーナー、愛玩動物看護師、ドッグブリーダー、それぞれの経験を持たれる講師陣が担当し、実務レベルの管理能力を指導します。

回数	授 業 内 容
1～5	動物愛護法に基づく飼育施設の設定
6～10	適正な飼育施設とは
11～15	飼育施設の消毒と清掃
16～20	飼育施設(サークル、クレイト)の注意点
21～25	飼育施設のチェック 排泄、誤飲、飲水量、食事
26～30	日常の健康管理 バイタルチェック、耳、眼、リンパ、元気、食欲等
31～35	日常飼育中の大型犬の管理方法 散歩時のチェック、気を付けるべき疾患
36～40	日常飼育中の小型犬の管理方法 散歩時のチェック、気を付けるべき疾患
41～45	日常飼育中の猫の管理方法 部屋の中での注意、気を付けるべき疾患

専科実習 I	1 年次	通年必修	225 時間	5 単位
ナースینگ&トリミング科 (通信部)	専門科目		職業実践科目	
	オンライン学習		139 時間	演習
	対面学習		86 時間	実習

■授業の概要

ペットショップでの生体販売時重要事項説明や生体管理実務等について犬のシャンプーセットや犬のしつけ方、感染症の知識について学ぶ。

■到達目標

生体販売時事前説明を行うことができる、子犬に負担のない飼育方法などを身につける。
犬のトリミング、看護、訓練及び繁殖に係る基礎的技術を習得する。

■成績評価の方法等

スクーリング出席点、オンライン単元認定試験、ほか

■授業計画

◆実務経験者による授業の有無：有

ドッグブリーダーとしての実務経験者が担当します。

※予定は変更されることがあります。

回数	授 業 内 容
1～38	販売実習 販売前重要事項説明の基礎・法規・シナリオ作り
39～75	販売実習 重要事項説明実施練習
76～85	バイタルチェック 体温、心拍(脈拍)、呼吸、血圧
86～95	尿検査 意義、注意点、検査方法
96～105	糞便検査 意義、注意点、検査方法
106～115	耳検査 意義、注意点、検査方法
116～125	皮膚検査 意義、注意点、検査方法
126～135	細胞診 意義、注意点、検査方法
136～145	子宮頸部細胞診 意義、注意点、検査方法
146～150	復習
151～199	シャンプーセット やり方、注意点

	ブラッシング、ネイルカット、イヤーケア、クリッピング、ペイシング、ドライイング
200～225	鉤開閉・やり方、注意点 ウィッグカット、直線